令和　8　　年度　クリーンプラザ維持管理に関する情報の公表について

1．一般廃棄物（可燃ごみ）の搬入量

ごみ種類	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
可燃ごみ	t	7,303	7,305	7,427	7,705	7,521	7,447						

2．燃焼室中の燃焼ガス温度（測定結果は連続的に測定し、記録したすべての日の平均値の月平均値）　［測定位置：燃焼室出口］

区　　分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	℃	932	941	934	938	924	913						
2号炉	℃	937	932	925	916	918	913						

3．集じん器に流入する燃焼ガス温度（測定結果は連続的に測定し、記録したすべての日の平均値の月平均値）　［測定位置：集じん器入り口］

区　　分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	℃	156	158	158	159	156	155						
2号炉	℃	159	158	158	158	158	157						

4．排ガス中の一酸化炭素（CO）濃度（測定結果は連続的に測定し、記録したすべての日の平均値の月平均値）　［測定位置：集じん器出口］

区　　分	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	ppm	4	4	3	3	4	4						
2号炉	ppm	11	12	11	10	10	10						

5．冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日

区　　分		実　施　年　月　日			
冷却設備	1号炉	R8.7.13~R8.7.15			
	2号炉	R8.5.17~R8.5.19			
排ガス処理設備	1号炉	R8.7.13~R8.7.15			
	2号炉	R8.5.17~R8.5.19			

6．ばい煙量又はばい煙濃度測定結果　［測定位置：集じん器出口］

区　　分	単位	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
ばいじん濃度	g/㎥N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001						
塩化水素濃度	ppm	15	25	13	18	8.8	27						
窒素酸化物濃度	ppm	32	36	31	27	25	32						
硫黄酸化物濃度	ppm	6.1	6.6	11	10	7.4	10						
排ガスを採取した年月日		2026.4.2	2026.4.3	2026.6.4	2026.6.5	2026.8.6	2026.8.7						
結果が得られた年月日		2026.4.17	2026.4.17	2026.6.24	2026.6.24	2026.8.25	2026.8.25						

7．排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果　［測定位置：集じん器出口］

区　　分	単位	1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
排ガス中のダイオキシン類濃度	ng-TEQ/㎥N	0.000021	0.000016		
排ガスを採取した年月日		2026.4.7	2026.4.7		
結果が得られた年月日		2026.4.27	2026.4.27		

【測定項目等の説明】

ばいじん濃度　：物の焼却とともに発生する。このうち、すす、完全燃焼した灰分、燃焼並びに熱分解による固形粒子をいう。

塩化水素濃度　：塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生し、刺激臭を有する無色の気体である。自然界では火山活動等で発生する。

窒素酸化物濃度　：石油、ガス等の燃料の燃焼に伴って発生し、その発生源は工場、自動車、家庭の厨房等多種多様である。

硫黄酸化物濃度　：石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。天然には、火山温泉等に存在する。

ダイオキシン類　：塩素、酸素、炭素、水素の存在下で、ものが燃焼するときに発生する有機化合物である。ごみ焼却、タバコの煙、自動車の排ガス、野焼きのほか様々な発生源から副生成物として発生する。また、ダイオキシン類は、自然界でも発生することがあり、例えば、森林火災、火山活動等でも生じるといわれている。